

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語 1
	2	訓読み・送り仮名・熟語 2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方 1
	6	漢字の意味・使い方 2
	7	漢字の意味・使い方 3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き 1
	11	特殊な漢字の読み書き 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書表現基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ビジネスにおける文書表現力を身につける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	事実の理由や目的
	2	順番・手段・付帯状況
	3	品詞の修飾
	4	文の接続①
	5	考えを伝える表現
	6	継続と瞬間
	7	意志表現・無意志表現
	8	否定の意志・状況
	9	場所
	10	比較・客観性
	11	強調
	12	名詞修飾
	13	終助詞による表現の変化
	14	間接受身
	15	指示・命令／許可・放任
	16	誘発
	17	働きかけ
	18	自分の意志と他人の意志
	19	感情・思考
	20	感謝
	21	依頼・許可
	22	意志の有無
	23	過去の習慣
	24	状況の説明
	25	様子や状況を受ける・話題の提示
	26	発見・きっかけ
	27	過去の出来事
	28	事情の説明
	29	主体と対象の距離
	30	敬語表現
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書表現基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	日常の場面とビジネスの場面で使用する語彙の違いを学ぶ	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な語彙・表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	行為
	2	変化、動き
	3	動詞化
	4	開始、完了
	5	長文問題
	6	人間
	7	抽象
	8	社会
	9	衣食住、自然
	10	長文問題
	11	精神
	12	物事の様子
	13	長文問題
	14	状態、程度
	15	長文問題
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書表現実践 I	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	幅広い場面で使われる日本語を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な語彙・表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	漢字
	2	漢字
	3	語彙
	4	語彙
	5	文法
	6	文法
	7	文法
	8	読解
	9	読解
	10	読解
	11	読解
	12	聴解
	13	聴解
	14	聴解
	15	聴解
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書表現実践Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	日本語能力試験N1を題材として、幅広い場面で使われる日本語を理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	場面や文脈に応じて適切な語彙・表現を選ぶ能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	漢字
	2	漢字
	3	語彙
	4	語彙
	5	文法
	6	文法
	7	文法
	8	読解
	9	読解
	10	読解
	11	読解
	12	聴解
	13	聴解
	14	聴解
	15	聴解
	16	漢字
	17	漢字
	18	語彙
	19	語彙
	20	文法
	21	文法
	22	文法
	23	読解
	24	読解
	25	読解
	26	読解
	27	聴解
	28	聴解
	29	聴解
	30	聴解
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	コミュニケーション実践			
実務家教員				
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	40回			
授業概要	日本を多角的にとらえながら日本についての理解を深める			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	日本を多角的にとらえながら日本についての深く理解し、世界との違いを理解し、自らの意見が言える			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス、専門学生に必要な教養とは	31	日本の政治②
	2	日本はどんな国か①	32	日本の政治③
	3	日本はどんな国か②	33	日本の政治④
	4	日本はどんな国か③	34	日本の技術①
	5	日本はどんな国か④	35	日本の技術②
	6	日本の都市と地方の暮らし①	36	日本の技術③
	7	日本の都市と地方の暮らし②	37	日本の技術④
	8	日本の都市と地方の暮らし③	38	日本と世界の未来①
	9	日本の都市と地方の暮らし④	39	日本と世界の未来②
	10	日本を旅する①	40	日本と世界の未来③
	11	日本を旅する②		
	12	日本を旅する③		
	13	日本を旅する④		
	14	四季折々の日本①		
	15	四季折々の日本②		
	16	四季折々の日本③		
	17	四季折々の日本④		
	18	日本語のスピーチスタイル①		
	19	日本語のスピーチスタイル②		
	20	日本語のスピーチスタイル③		
	21	日本語のスピーチスタイル④		
	22	日本人と宗教①		
	23	日本人と宗教②		
	24	日本人と宗教③		
	25	日本人と宗教④		
	26	日本人と自然①		
	27	日本人と自然②		
	28	日本人と自然③		
	29	日本人と自然④		
	30	日本の政治①		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ホテル基礎 I			
実務家教員	○			
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
単位数	4 単位			
授業回数	40 回			
授業概要	ホテル実務を体系的に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	ホテル実務を体系的に理解する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	宴会部門 宴会部門の実務 主な担当者の業務③
	2	ホテルとは①	32	調理部門 調理部門の概要 調理部門の特性①
	3	ホテルとは②	33	調理部門 調理部門の概要 調理部門の特性②
	4	ホテルとは③	34	調理部門 調理部門の概要 組織と業務役割①
	5	宿泊部門 宿泊部門の概要 宿泊商品の特性①	35	調理部門 調理部門の概要 組織と業務役割②
	6	宿泊部門 宿泊部門の概要 宿泊商品の特性②	36	調理部門 調理部門の実務 基本知識①
	7	宿泊部門 宿泊部門の概要 組織と業務役割①	37	調理部門 調理部門の実務 基本知識②
	8	宿泊部門 宿泊部門の概要 組織と業務役割②	38	調理部門 調理部門の実務 主な担当者の業務①
	9	宿泊部門 宿泊部門の概要 組織と業務役割③	39	調理部門 調理部門の実務 主な担当者の業務②
	10	宿泊部門 宿泊部門の実務 基本知識①	40	まとめ・試験
	11	宿泊部門 宿泊部門の実務 基本知識②		
	12	宿泊部門 宿泊部門の実務 主な担当業務①		
	13	宿泊部門 宿泊部門の実務 主な担当業務②		
	14	料飲部門 料飲部門の概要 料飲部門の特性①		
	15	料飲部門 料飲部門の概要 料飲部門の特性②		
	16	料飲部門 料飲部門の概要 組織と業務役割①		
	17	料飲部門 料飲部門の概要 組織と業務役割②		
	18	料飲部門 料飲部門の実務 基本知識①		
	19	料飲部門 料飲部門の実務 基本知識②		
	20	料飲部門 料飲部門の実務 基本知識③		
	21	料飲部門 料飲部門の実務 主な担当者の業務①		
	22	料飲部門 料飲部門の実務 主な担当者の業務②		
	23	宴会部門 宴会部門の概要 宴会商品の特性①		
	24	宴会部門 宴会部門の概要 宴会商品の特性②		
	25	宴会部門 宴会部門の概要 組織と業務役割①		
	26	宴会部門 宴会部門の概要 組織と業務役割②		
	27	宴会部門 宴会部門の実務 基本知識①		
	28	宴会部門 宴会部門の実務 基本知識②		
	29	宴会部門 宴会部門の実務 主な担当者の業務①		
	30	宴会部門 宴会部門の実務 主な担当者の業務②		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	介護技術の基礎			
実務家教員				
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	40回			
授業概要	基本的な介護知識及び介護語彙を覚える			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	介護に関する基礎知識を身につける			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	業務に必要な知識⑥ 食事介助
	2	法律制度① 日本国憲法	32	業務に必要な知識⑦ 排泄介助
	3	法律制度② 社会福祉士及び介護福祉士法	33	業務に必要な知識⑧ 移乗介助
	4	法律制度③ 日本介護福祉士倫理綱領	34	業務に必要な知識⑨ ボディメカニクス
	5	法律制度④ 介護保険	35	業務に必要な知識⑩ 声かけと傾聴
	6	法律制度⑤ 要介護認定	36	業務に必要な知識⑪ 記録（業務日誌、ケース記録など）
	7	法律制度⑥ 介護保険のサービス（介護給付・予防給付）	37	業務に必要な知識⑫ 介護過程
	8	専門職種① 介護福祉士	38	模擬試験
	9	専門職種② 介護支援専門員（ケアマネージャー）	39	模擬試験
	10	専門職種③ 社会福祉士・精神保健福祉士	40	まとめ・試験
	11	専門職種④ 栄養士と管理栄養士・理学療法士		
	12	専門職種⑤ 作業療法士・言語聴覚士		
	13	高齢者にみられる主な病気・症状① 生活習慣病		
	14	高齢者にみられる主な病気・症状② 誤嚥性肺炎		
	15	高齢者にみられる主な病気・症状③ 失禁		
	16	高齢者にみられる主な病気・症状④ 目と口の病気・症状		
	17	高齢者にみられる主な病気・症状⑤ 心臓の病気・症状		
	18	高齢者にみられる主な病気・症状⑥ 脳の病気・症状		
	19	高齢者にみられる主な病気・症状⑦ 認知症		
	20	高齢者にみられる主な病気・症状⑧ 骨と関節の病気・症状		
	21	高齢者にみられる主な病気・症状⑨ 骨粗鬆症		
	22	高齢者にみられる主な病気・症状⑩ 廃用症候群（生活不活発病）		
	23	高齢者にみられる主な病気・症状⑪ 褥瘡（床ずれ）		
	24	高齢者にみられる主な病気・症状⑫ 感染症		
	25	高齢者にみられる主な病気・症状⑬ ノロウイルス		
	26	業務に必要な知識① チームアプローチ		
	27	業務に必要な知識② 福祉用具		
	28	業務に必要な知識③ ADLとIADL		
	29	業務に必要な知識④ バイタルサイン		
	30	業務に必要な知識⑤ 入浴介助		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書理解 I	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ビジネス文書、評論、エッセイなど様々な文章に触れ、読解力の向上を図る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	200字～1000字の文章を速くかつ正確に読み取る	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ウォーミングアップ①
	2	ウォーミングアップ②
	3	ウォーミングアップ③
	4	ウォーミングアップ④
	5	ウォーミングアップ⑤
	6	ウォーミングアップ⑥
	7	短文を読み取る①
	8	短文を読み取る②
	9	短文を読み取る③
	10	短文を読み取る④
	11	短文を読み取る⑤
	12	図表を読み取る①
	13	図表を読み取る②
	14	図表を読み取る③
	15	図表を読み取る④
	16	図表を読み取る⑤
	17	復習
	18	中文を読み取る①
	19	中文を読み取る②
	20	中文を読み取る③
	21	中文を読み取る④
	22	中文を読み取る⑤
	23	中文を読み取る⑥
	24	復習
	25	長文を読み取る①
	26	長文を読み取る②
	27	長文を読み取る③
	28	長文を読み取る④
	29	長文を読み取る⑤
	30	復習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	時事入門	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	15回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	時事用語①
	3	考え方①
	4	時事用語②
	5	考え方②
	6	時事用語③
	7	考え方③
	8	時事用語④
	9	考え方④
	10	時事用語⑤
	11	考え方⑤
	12	発表①
	13	発表②
	14	発表③
	15	発表④
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際文化基礎	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、協同作業を通じてコミュニケーション力向上を図る	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	異文化理解に対する高い意識をもつとともに、積極的に自国以外の学生との交流を図ることができる。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	日本文化と世界の文化①
	2	日本文化と世界の文化②
	3	日本文化と世界の文化③
	4	協同作業①
	5	日本文化と世界の文化④
	6	日本文化と世界の文化⑤
	7	日本文化と世界の文化⑥
	8	協同作業②
	9	日本文化と世界の文化⑦
	10	日本文化と世界の文化⑧
	11	日本文化と世界の文化⑨
	12	協同作業③
	13	日本文化と世界の文化⑩
	14	日本文化と世界の文化⑪
	15	日本文化と世界の文化⑫
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話力基礎	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	口頭練習と談話練習を重ね、基礎的な会話力を身につける	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	基本的なビジネス場面における会話のスキルアップを図る	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	自己紹介
	3	自己紹介
	4	敬語
	5	敬語
	6	面接を受ける
	7	面接を受ける
	8	報告・連絡・相談の手法
	9	報告・連絡・相談の手法
	10	報告・連絡・相談の実践
	11	報告・連絡・相談の実践
	12	ビジネスの場面における会話
	13	ビジネスの場面における会話
	14	ビジネスの場面における会話
	15	ビジネスの場面における会話
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文化リテラシー I	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	言語知識の習得や読解に発表を組み合わせ、総合的な日本語力を養う	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	聞き手との関係に注意し、それにふさわしい談話構成能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	異文化での気づき
	2	異文化での気づき
	3	経験からの学び
	4	国際交流
	5	異文化コミュニケーション
	6	インタビューに見るプロ意識
	7	インタビューに見るプロ意識
	8	インタビュー記事
	9	大切なもの
	10	温泉事情
	11	小説・エッセイを通じて考える愛
	12	小説・エッセイを通じて考える愛
	13	小説や映画のレビュー
	14	ある日のできごと
	15	ペットに関する社会事情
	16	データから考える社会
	17	データから考える社会
	18	データ分析
	19	学生生活
	20	格差社会
	21	言葉の裏にあるもの
	22	言葉の裏にあるもの
	23	日本語と母語の違い
	24	コミュニケーションスタイル
	25	若者のコミュニケーション
	26	発想の転換
	27	発想の転換
	28	小論文
	29	人や社会とのつながり
	30	求められる人材
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	文化リテラシーⅡ	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	言語知識の習得や読解に発表を組み合わせ、総合的な日本語力を養う	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	聞き手との関係に注意し、それにふさわしい談話構成能力を身につける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	自己紹介と本当の自分
	2	自己紹介と本当の自分
	3	自己紹介と本当の自分
	4	自己紹介と本当の自分
	5	自己紹介と本当の自分
	6	若者の自己評価
	7	若者の自己評価
	8	若者の自己評価
	9	若者の自己評価
	10	若者の自己評価
	11	ジェンダーを考える
	12	ジェンダーを考える
	13	ジェンダーを考える
	14	ジェンダーを考える
	15	ジェンダーを考える
	16	ことばと文化
	17	ことばと文化
	18	ことばと文化
	19	ことばと文化
	20	ことばと文化
	21	働くということ
	22	働くということ
	23	働くということ
	24	働くということ
	25	働くということ
	26	環境のためにできること
	27	環境のためにできること
	28	環境のためにできること
	29	環境のためにできること
	30	環境のためにできること
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	25回	
授業概要	社会人として必要な聴解力を養うためにアカデミックな内容の長文を聴く	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	談話の内容を踏まえ、その結果や帰結などを導き出すことができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	読解①
	2	聴解①
	3	聴解②
	4	読解②
	5	聴解③
	6	聴解④
	7	読解③
	8	聴解⑤
	9	聴解⑥
	10	読解④
	11	聴解⑦
	12	聴解⑧
	13	読解⑤
	14	聴解⑨
	15	聴解⑩
	16	読解⑥
	17	聴解⑪
	18	聴解⑫
	19	読解⑦
	20	聴解⑬
	21	聴解⑭
	22	読解⑧
	23	聴解⑮
	24	聴解⑯
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション技術	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数・授業時間	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	円滑な人間関係の基本となるコミュニケーションスキルを学び、演習を通してスキルの向上を図る。その上で、幼児期から児童期への発達段階に応じたコミュニケーションスキル身に付けるための知識や技術を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識・スキルの定着を図る	
達成目標	自己表現ができるようになる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	コミュニケーションとは
	2	コミュニケーションの必要性
	3	自己紹介①
	4	自己紹介②
	5	自己紹介③
	6	自己紹介④
	7	自己分析①
	8	自己分析②
	9	自己分析③
	10	自己分析④
	11	他己紹介①
	12	他己紹介②
	13	他己分析①
	14	自己の長所の抽出①
	15	自己の長所の抽出②
	16	会話技術の向上①
	17	会話技術の向上②
	18	会話技術の向上③
	19	会話技術の向上④
	20	会話技術の向上⑤
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と実技試験により評価する。	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	一般知識			
実務家教員				
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	40回			
授業概要	世界における日本についての一般知識を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	世界における日本についての一般的な知識を身につける			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	日本経済③<ものづくり文化>
	2	日本を代表する有名人①<アニメ、文学、	32	日本経済④<日本語観光産業>
	3	日本を代表する有名人②<経済、産業>	33	現代日本①<少子高齢化>
	4	日本を代表する有名人③<ノーベル賞>	34	現代日本②<地方と都市>
	5	日本を楽しむ①<町>	35	現代日本③<メディアとSNS>
	6	日本を楽しむ②<自然>	36	現代日本④<日本の教育>
	7	日本を楽しむ③<伝統文化>	37	国際関係①<アジアと日本の関係>
	8	日本を楽しむ④<現代文化>	38	国際関係②<国際協力・ODA>
	9	日本を楽しむ⑤<歴史、寺社>	39	世界からみた日本
	10	日本を楽しむ⑥<鉄道、道の駅>	40	まとめ
	11	日本社会①<食事>		
	12	日本社会②<交通機関>		
	13	日本社会③<トイレとごみ箱>		
	14	日本社会④<衣食住>		
	15	日本語の知識①<文字の歴史>		
	16	日本語の知識②<発音の歴史>		
	17	日本語の知識③<方言>		
	18	日本語の知識④<若者言葉>		
	19	世界の中の日本語		
	20	世界と日本		
	21	日本の文化①<季節行事>		
	22	日本の文化②<祭り>		
	23	日本の文化③<茶道・華道・書道>		
	24	日本の文化④<武道>		
	25	日本の歴史①<古代～平安>		
	26	日本の歴史②<鎌倉～戦国>		
	27	日本の歴史③<江戸時代>		
	28	日本の歴史④<明治以降の近代化>		
	29	日本経済①<戦後経済成長>		
	30	日本経済②<日本企業とブランド>		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	論作文演習	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	作文と論文の書き方を学び、自らの感情や意見を述べる書き方を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	作文と論文の書き方を学び、自らの感情や意見が記述できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ガイダンス、作文と論文
	2	作文の基本①
	3	作文の基本②
	4	作文の基本③
	5	作文の基本④
	6	作文の基本⑤
	7	作文の基本⑥
	8	作文の基本⑦
	9	作文の基本⑧
	10	作文の基本⑨
	11	作文の基本⑩
	12	論文の基本①
	13	論文の基本②
	14	論文の基本③
	15	論文の基本④
	16	論文の基本⑤
	17	論文の基本⑥
	18	資料について①
	19	資料について②
	20	資料について③
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ホテル基礎Ⅱ			
実務家教員	○			
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	40回			
授業概要	ホテル・旅館の代表的な特徴を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	ホテルの代表的な特徴を学び観光ビジネスを理解する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	専門職に求められるスキル① ホテルの各セクションの業務
	2	観光ビジネスの概要① 訪日外国人旅行者の推移	32	専門職に求められるスキル② ステップアップのための基礎スキル
	3	観光ビジネスの概要② ビジット・ジャパン・キャンペーン	33	専門職に求められるスキル③ ホスピタリティの実践
	4	観光ビジネスの概要③ アジアからの旅行者	34	専門職に求められるスキル④ チームワークとコミュニケーション
	5	観光ビジネスの概要④ 国際観光客の今後の予測	35	専門職に求められるスキル⑤ お客様の安全確保と衛生管理
	6	観光ビジネスの概要⑤ 観光客・宿泊客の傾向	36	専門職に求められるスキル⑥ 施設管理と環境対策
	7	観光ビジネスの概要⑥ 観光客ニーズの変化	37	実務の基礎知識① お客様満足度とクレーム・コンプレン
	8	観光ビジネスの概要⑦ 宿泊旅行と日帰り旅行の比較	38	実務の基礎知識② クレームとコンプレンの違い
	9	観光ビジネスの概要⑧ 日本人旅行者と外国人旅行者	39	実務の基礎知識③ クレーム・コンプレンの防止
	10	観光ビジネスの概要⑨ 集客方法・販売チャネルの変化	40	まとめ・試験
	11	観光ビジネスの概要⑩ 情報収集ツールの変化		
	12	宿泊施設の種類① 旅館とホテルの特徴		
	13	宿泊施設の種類② 旅館とホテルのサービスの違い		
	14	宿泊施設の種類③ 旅館のタイプ		
	15	宿泊施設の種類④ ホテルのタイプ		
	16	宿泊施設の種類⑤ 求められるスタッフのスキル		
	17	宿泊施設の種類⑥ 利用客のニーズ		
	18	宿泊施設の種類⑦ 法律と定員		
	19	宿泊施設の種類⑧ 知っておくべきプロトコル		
	20	宿泊施設の種類⑨ 日本料理と器		
	21	宿泊施設の種類⑩ 訪日外国人旅行者への配慮		
	22	組織とスタッフの業務① 旅館・ホテルの組織		
	23	組織とスタッフの業務② 旅館・ホテルのキャリアマップ		
	24	組織とスタッフの業務③ 旅館の仕事		
	25	組織とスタッフの業務④ ホテルの仕事		
	26	組織とスタッフの業務⑤ 接遇マナー・言葉遣い		
	27	組織とスタッフの業務⑥ 予約の受け方・対応		
	28	組織とスタッフの業務⑦ アレルギー対応		
	29	組織とスタッフの業務⑧ 身体が不自由なお客様への対応		
	30	組織とスタッフの業務⑨ ホスピタリティとサービス		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	宿泊サービス演習	
実務家教員	○	
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	ホテル・レストランでの基本的なサービスを実践的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ホテル・レストランでの基本的なサービスができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	受付演習①<レストラン>
	3	受付演習②<レストラン>
	4	受付演習③<レストラン>
	5	お客様への応対演習①<ホテル>
	6	お客様への応対演習②<ホテル>
	7	お客様への応対演習③<ホテル>
	8	ルームキーピング演習①
	9	ルームキーピング演習②
	10	ルームキーピング演習③
	11	受付演習①<レストラン>
	12	受付演習②<レストラン>
	13	受付演習③<レストラン>
	14	料飲演習①
	15	料飲演習②
	16	料飲演習③
	17	料飲演習④
	18	お客様への応対演習①<レストラン>
	19	お客様への応対演習②<レストラン>
	20	まとめ・試験
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	介護技術の応用			
実務家教員				
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	40回			
授業概要	介護現場で必要とされるコミュニケーションを学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	介護場面で使われる会話力と現場の状況を報告できる能力を身につける			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	申し送り②
	2	起床①	32	物忘れの多い利用者への対応①
	3	起床②	33	物忘れの多い利用者への対応②
	4	朝の体温測定①	34	間食が多い利用者への対応①
	5	朝の体温測定②	35	間食が多い利用者への対応②
	6	整容①	36	ナースコールが多い利用者への対応①
	7	整容②	37	ナースコールが多い利用者への対応②
	8	口腔ケア①	38	家族への対応①
	9	口腔ケア②	39	家族への対応②
	10	歩行①	40	まとめ・試験
	11	歩行②		
	12	車いすへの移乗①		
	13	車いすへの移乗②		
	14	排泄①		
	15	排泄②		
	16	食事①		
	17	食事②		
	18	食後の服薬①		
	19	食後の服薬②		
	20	衣服の着脱①		
	21	衣服の着脱②		
	22	入浴①		
	23	入浴②		
	24	清拭①		
	25	清拭②		
	26	日常の声かけ①		
	27	日常の声かけ②		
	28	レクリエーション活動の計画①		
	29	レクリエーション活動の計画②		
	30	申し送り①		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価			
備考				

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	介護技術	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	介護場面で必要な技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	介護場面で必要な基本的な技術を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	介護技術① 体温測定
	3	介護技術② 整容
	4	介護技術③ 口腔ケア
	5	介護技術④ 体位変換
	6	介護技術⑤ 歩行
	7	介護技術⑥ 車いすへの移乗
	8	介護技術⑦ 車いすでの移動
	9	介護技術⑧ 排泄介助
	10	介護技術⑨ 食事介助
	11	介護技術⑩ 服薬介助
	12	介護技術⑪ 衣服の着脱
	13	介護技術⑫ 入浴介助
	14	介護技術⑬ 清拭
	15	介護技術⑭ 洗濯
	16	介護技術⑮ 掃除
	17	介護技術⑯ レクリエーション
	18	模擬試験
	19	模擬試験
	20	まとめ・試験
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門 I	
実務家教員		
学部・学科	国際コミュニケーション学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原則の理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

## 授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級商業簿記基礎			
実務家教員				
学部・学科	国際コミュニケーション学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	簿記の目的	31	商業簿記総まとめ③
	2	簿記一巡①	32	商業簿記総まとめ④
	3	簿記一巡②	33	商業簿記総まとめ⑤
	4	商品売買①	34	商業簿記総まとめ⑥
	5	商品売買②	35	損益計算書および貸借対照表①
	6	現金および預金①	36	損益計算書および貸借対照表②
	7	現金および預金②	37	損益計算書および貸借対照表③
	8	手形	38	主要簿と補助簿①
	9	有形固定資産	39	主要簿と補助簿②
	10	その他の債権および債務①	40	主要簿と補助簿③
	11	その他の債権および債務②	41	主要簿と補助簿④
	12	税金	42	主要簿と補助簿⑤
	13	その他の勘定および訂正仕訳	43	主要簿と補助簿⑥
	14	株式会社の資本	44	伝票①
	15	確認テスト（第1回）	45	伝票②
	16	決算①（繰越商品および仕入の決算整理）		
	17	決算②（決算整理後残高試算表）		
	18	決算③（精算表）		
	19	決算④（有形固定資産の決算整理）		
	20	決算⑤（有形固定資産の決算整理）		
	21	決算⑥（有形固定資産の決算整理）		
	22	決算⑦（受取手形および売掛金の決算整理）		
	23	決算⑧（費用および収益の決算整理）		
	24	決算⑨（費用および収益の決算整理）		
	25	決算⑩（その他の決算整理）		
	26	決算⑪（その他の決算整理）		
	27	決算⑫（その他の決算整理）		
	28	確認テスト（第2回）		
	29	商業簿記総まとめ①		
	30	商業簿記総まとめ②		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験			
備考				